

『公益法人の資産運用 研究講座シリーズ(その2)』

～ 公益法人資産運用 3つの制約条件について考える ～

本セミナーは特定の金融商品の販売や勧誘を目的としていません。経験豊富な講師が多くのコンサルティング事例をご紹介させていただくことで今後の貴法人の資産運用の方向性を検討する材料にいただければ幸いです。シリーズ(その2)とありますが、各回は独立した講義内容となっていますので、今回から(のみ)のご参加でもお役に立つ内容となっております。

講師より

「殆どの債券の利回りがマイナスあるいはゼロになってしまった。」「残された運用手段は超長期社債や劣後債(永久劣後債)、仕組債ぐらいしかないのか。」「為替を含む市場価格変動リスクや信用格付けの変更リスク、経済変動のリスクに対応した適切なリスク管理が行えるのか。」「いかに公益事業をサポートする運用収益を安定確保し続けられるのだろうか。」

ついに、公益法人資産運用を取り巻く環境は、いよいよ完全な不確実性が支配する“混とん”とした時代に突入してしまったのではないのでしょうか。

多くの公益法人では事業の安定遂行という目標達成の為に資産運用、運用収入が欠かせません。しかしながら、このままでは収益確保やリスク管理が立ち行かなくなっている以上、従来の資産運用の考え方と運用手段について再検討する必要性を感じていらっしゃる法人やその運用担当者も少なくはないのではないのでしょうか。

この度、『【公益法人の資産運用】研究講座シリーズ(その2)』～ 公益法人資産運用 3つの制約条件について考える ～ と題し、今後の公益法人の資産運用の考え方、ノウハウ、事例紹介、法人間の情報交換、交流も交えた実践的な内容での講座を開催いたします。公益法人の資産運用に真摯に取り組む役職員の皆様を対象として、新任からベテランまで広く法人資産運用に関わる役職員の皆様のご参加をお待ちしております。

【開催概要】

日時:2017年10月11日(水) 13:30～16:30
場所:東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング9階
TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター 9A

参加費:5,000円(税込・お一人当たり)
当日お持ちください。

定員:20名

お申込方法:下記申込書に必要事項をご記入の上、ファックスでお申込ください。

講師:インディペンデント・フィデューシャリー株式会社
代表取締役 梅本 洋一(プロフィール裏面)

主催:インディペンデント・フィデューシャリー株式会社
お問合せ:nakazawa@i-fiduciary.co.jp
TEL:03-3234-1232

セミナー参加申込 必要事項をご記入の上ファックスにてお申込みください。

10月11日のセミナーに参加する

当日参加できないが資料を希望する

| | | | |
|-----|-----|---------|--|
| 団体名 | | | |
| ご住所 | 〒 | | |
| 電話 | | FAX | |
| お名前 | お役職 | メールアドレス | |
| | | | |
| | | | |

 **FAX:03-6861-4263**



ご提供いただいた個人情報の利用目的:本セミナーの実施のため
ファックス受領後、確認のメール(アドレスの記載がない場合には電話またはファックス)します。
連絡がない場合にはお手数ですがご連絡をお願いします。

『公益法人の資産運用 研究講座シリーズ(その2)』

～ 公益法人資産運用 3つの制約条件について考える ～

講義内容

1. 公益法人の資産運用を取り巻く環境
2. A法人(旧来型の資産運用)とB法人(新しい運用モデル)の比較事例
 - I. A法人(旧来型の資産運用)とB法人(新しい運用モデル)の結果が大きく異なる理由とは？
 - II. 旧来型の資産運用が繰り返すトラブルに陥ってしまう考え方と投資行動のパターン
 - III. 安定収入が生まれる仕組み
 - IV. 「価格変動」リスクを抑える工夫
 - V. 運用収入を予見可能にするノウハウ
 - VI. 「価格変動」リスクを限定する仕組み
 - VII. 組織として資産運用の透明性、説明性、一貫性、継続性を確保する仕組み
3. 公益法人の資産運用における3つの制約条件とは？
 - I. 第一の制約 公益法人の側の制約
 - i. 組織的、人的な制約
 - ii. 会計・決算の制約
 - II. 第二の制約 金融ビジネスの側の制約
 - i. フィデューシャリー・デューティー (fiduciary duty 受託者責任)
 - ii. 利益相反や不当なコスト請求が生まれる構造
 - III. 第三の制約 資産運用の世界の制約
 - I. 何が起こるかは誰にもわからない
 - II. 簡単に陳腐化する
 - III. 決してコントロールできない
4. 今後の公益法人の資産運用の在り方

講師:梅本洋一

インディペンデント・フィデューシャリー株式会社 代表取締役
(公財)公益法人協会 公益法人資産運用研究会 委員・事務局主査
法人資金運用管理コンサルタント

国際基督教大学教養学部語学科 卒業
野村證券株式会社 入社
株式会社アセットマネジメント・ラボラトリー入社
インディペンデント・フィデューシャリー株式会社 設立

【セミナー・研修講師】

- ◆ (公財)公益法人協会主催セミナー
 - ・ 資産運用集中講座” (2006)
 - ・ シンポジウム:公益法人の資産運用のあり方を考える(2010)
 - ・ 資産運用連続講座(2015)
 - ・ 資産運用連続講座 (2016)
- ◆ 高等教育情報センター主催セミナー
 - ・ 学校法人の資金運用・管理体制の構築 (2006)
 - ・ サブプライム・ショックと学校法人資金運用 (2007)
 - ・ 大学法人資金運用のリスク管理と説明責任 (2008)
 - ・ 年金基金に学ぶ、大学法人資金運用のリスク管理のあり方 (2008)
 - ・ 大学法人の資金運用・管理体制の構築(2009)
 - ・ 事例研究にみる大学資産運用の最前線 (2010)
- ◆ (公社)私学経営研究会主催セミナー
 - ・ 学校法人の資産運用とその管理体制(2011)

【執筆】

- ◆ 『公益法人の資産運用』(共著) (公財)公益法人協会(2009)
- ◆ (公財)公益法人協会発行『公益法人』寄稿論文
 - ・ 非営利法人経営の「目的遂行」と資金運用の受託者責任(2006)
 - ・ 公益法人資産運用アンケート調査結果(2008)・公益法人の資産運用を考える(2010)
 - ・ 公益法人実務担当者の資産運用入門①～⑭(2011～2012)
 - ・ 続・公益法人実務担当者の資産運用入門①～⑧(2015)
 - ・ 公益法人資産運用への緊急提言①～④(2016)
- ◆ NPO法人 学校経理研究会発行『学校法人』寄稿論文
 - ・ 学校法人の資金運用・管理体制の構造的な限界(2006)